

10.21 芝公園へ

(人民共闘会) 大集会



81.10.20
No.873

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五ノ六(公電)四三三二七二〇七

三里塚ニ反戦闘争の高揚つくりだせ

全組合員のみなさん。いま、われわれをとりまく現実、日々に軍事大国化・反動化の波がおしよせてきている。こうした状況のなかで、今年の十・二一国際反戦デーは極めて重要な意義をもつ闘いとなっている。われわれは、十・二〇総評系集会への圧倒的とりくみの上にふまえ、更にこの労働者人民の反戦の意志を、軍事大国化攻撃の要としてある三里塚二期着工阻止闘争へ結集させるべく全力をあげて闘い抜かなければならない。

明日、十・二一芝公園へ総決起せよ。

米帝レーガンの戦争挑発弾劾

われわれは、十・二一国際反戦闘争に決起するにあたって確認せねばならないことは、米帝レーガンによる凶暴な戦争挑発政策を断固として弾劾せねばならない。レーガンは、「強いアメリカの復活」を掲げて登場以来、「ソ連脅威」を叫びた大軍拡政策をもって戦争挑発をくりひろげている。

リビア・アンゴラ・北朝鮮への戦争挑発を行い中性子爆弾の生産再開と、欧州・極東地区への配備を明らかにしたレーガンは、ついに「限定核戦争を準備する必要」があると結論づけ、核戦争政策を公然といはなつにまで到っている。

しかも米統合参謀本部の八二年度軍事情勢報告の付記では「欧州で通常戦争が起きた場合、五日目に核を使用する」という恐るべき核戦争を想定しているのだ。さらに、米帝の中東支配政策の要をなしてきたエジプトで、サダト大統領が射殺されるという事態が発生するや、直ちに四千の海兵隊で編成されたRDF(緊急展開部隊)を派遣し、リビアにたいする戦争挑発をしかけている。

また、サダト死後の米帝の中東支配危機の軍事的巻き返し策として、エジプトとの合同軍事演習を十一月第一週から約一ヶ月にわたって実施せんとしている。この合同軍事演習には、核兵器を搭載したB五二戦略爆撃機も参加し、局地的な核戦争をも想定したものと行われるのだ。

三里塚ニ反戦闘争軸に反撃を

こうした米帝レーガンによる恐るべき核戦争政策にたいし、全世界で労働者人民の怒りの決起が開始されている。アメリカにおいてレーガン政策に抗議し、五〇万の労働者人民が決起し、ベトナム反戦闘争以来の高揚をつくりだしている。西ドイツ・フランスでは、数十万の労働者人民が決起

し、米帝の核戦争政策に抗議している。

日帝・鈴木体制が、レーガンの戦争挑発政策を支持し、独自の軍事大国化・安保・改憲攻撃をもって戦争と反動へつき進むなか、いまこそ日本の労働者人民は決起しなければならぬ。

それは、軍事大国化・安保・改憲攻撃粉碎の闘いを三里塚ニ反戦闘争として一大決起をかちとることである。

いま日帝・鈴木体制にとって戦争と反動攻撃を進めるにあたって、当面の攻撃軸を三里塚二期着工攻撃にかけているのだ。三里塚空港の軍事空港としての必要性はもとより、十六年間にわたって形成された「反戦・平和の砦」である三里塚芝山連合空港反対同盟と三里塚を闘う労働者人民を圧殺せぬかぎり、八〇年代政策の貫徹は不可能と敵は考えている。

それゆえに、三里塚に巨万の労働者人民を決起させ、三里塚の勝利をかちとるなかにこそ、軍事大国化・安保・改憲攻撃を粉碎する勝利の道がある。

われわれは、十・二一三里塚現地集會に労組部隊千名をこえる結集をかちとったことにみられるように八一・三闘争をもって「三里塚を基軸に闘う労働運動」の新たな活性化をつくりだすことに成功した。この力をより強化、拡大させるものとして十・二一国際反戦闘争に結集しよう。

三里塚ニ反戦闘争の破壊のために、告訴路線・警察労働運動にはしり、いまや労働戦線の「全的統一」を主張し、右翼労働「統一」の先兵と化した動労「本部」反動分子の追放・一掃をかちとろう。

「反戦・平和の砦」ニ三里塚を守り、今秋、三里塚ニ反戦闘争の一大高揚をかちとろう。